

診 断 京 都

新 年 号

(題字 橋口会長筆)

目 次

年頭のご挨拶.....橋 口 隆 (1)

80年代に処すわが社の経営方針..... (2)

西脇一雄 井上六平 市川盛治 三宅秀明 高見このぶ
 福地志津雄 篠崎重倫 富井基博 山田浩三 中西利雄
 若山備弘 戸嶋勝美 広瀬 正 倉貫 茂

京都支部だより..... (12)



年頭のご挨拶 (社)中小企業診断協会 会 長 橋 口 隆

京都支部会員の皆様、あけましておめでとうございます。1980年の年頭を迎えるにあたって、会員の皆様に一言ご挨拶を申し上げます。わが国経済は、長期不況からゆるやかな回復基調への途をたどっていることはご承知の通りであります。しかしながら、最近の産油国の大幅な石油再値上げによって、エネルギーを中心にして他の先進諸国や発展途上国とともに大きな問題を抱えております。このため、低成長経済下において、インフレの再燃と金融引締めをはじめとして多くの問題の派生が懸念されております。

この情勢をふまえて、中小企業が活路を拓くために、中小企業が当面する諸困難を克服し、その健全な企業の発展をはかるべく知識集約化への移行によって、新しい分野への進出を図り、事業転換などで、その小回り性とバイタリティを生かした経営の転換が迫られております。政府もまた「産地中小企業対策臨時措置法」、「中小企業事業転換対策臨時措置法」等々を制定して、中小企業の育成、援助につとめていますが、中小企業の多くは、財政、人的能力に不足勝ちであり、その対応に苦慮しているのが現状であります。このような問題に対処する機運の醸成と解決は、日夜、中小企業を指導・育成する立場にある会員各位に俟つものであり、大きな使命をもっておられるのであります。

時あたかも、昨年、創立25周年記念式典も盛大に終り、それを機に80年代に入った中小企業に与えられた課題に対しての中小企業診断士への期待は絶大なものがあります。私も国政を預る立場にあって、特に中小企業問題に力を傾注し、会員各位とともに解決に努める覚悟であります。会員の皆様には、なお一層のご研鑽とご努力を祈念いたしまして、私の新年のご挨拶といたします。

80年代に処すわが社の経営方針

1980年に想う

日新工芸株式会社

社長 西 脇 一 雄

新しい年'80年を迎え、意を新に、成熟経済社会に対処すべく想う。私は80の数字を次のように考える。

1～9迄の数字は目に見える有限の物質的な姿を現し、0(零)は目に見えない無限の精神的な姿を現わしている。私達はこの見えない大きな働きにこそその重要さを知ることができる。あたかも大木の根の張る姿のように一。又8は発展への縁起のよい数字(横にすればシグマになる)で行動力を表現している。

私は昭和25年からカップ、楯、トロフィの製造を始め、ボウリングブームのあと、需要の激減にあい、かねてより次の商品開発に意を注いでいた。飾れる金属製賞状を始め、アイデアの豊かな販促的商品等、違った業界3つの商品の柱で、次第に成長路線を進むようになった。

資金は今日の命であり、商品力は未来の生命であることを痛切に感ずることができた。今後は最終消費者ニーズを確実につかみ、更に新製品開発に力を注ぎたい。

①商品にソフトウェアの情報、知識をサービスして販売しよう。「80年代の業界の業績向上の具体的戦略」をテーマに販売戦略や販売情報専門の技術説明会等、流通業者と共に栄える為に東奔西走し、説明会を開催したが理解ある経営者は可成の業績を挙げていただいた。

②これからは積極的に生き抜く健康とバイタリティを備えよう。経営には刻々と変化する動きの中で野草のように生き抜く根性と健康が特に必要なことは言う迄もない。

③社員に将来の夢と精神面からの充足感を植えつけよう。健康、経済的豊かさ、良き人間関係、精神的満足、充実した生活等、常に社員と共に自分達将来の幸せに夢のシナリオを具体的に語り、達成に全力投球したい。今や80年代の三猿の教えは「よく聞こう」「よく見よう」「よく語ろう」と私は思っている。

80年の新年を迎えて

(株)井 六 園

代表取締役社長 井 上 六 平

混迷の時代とも不透明の80年ともいわれる新年を迎え、身の引き締まる思いがする。

経営者の必須条件としてよくリーダーシップ、先見力、行動力の三つがあげられるが、それは何時の時代にも経営者に要求されるものであり、最低限の資質でもある。しかし私はこの80年代は、経営者にとってこれらの自己管理能力(ガバナビリテイ)とは別に、オーナーの人間性そのものが問われる時代ではないかと思う。社長の生き様、価値観、心のあり方が本物であるかどうか、きびしく試される時代となるのではないか。

そういった意味で経営者は至難の時代を生きぬくべく経営努力に全力を傾注するのは当然であるが、豊かな人間性の涵養とヒューマンな個性を培うことにより身を削るべきである。経営者のひたむきな姿勢、人としての赤裸々な生き様こそが、従業員にも顧客にも説得力を持ち得て胸を打つのである。

一方、コンピューターとスピード化、過密と相反する過疎の流れはますます速度を早めるであろうが、それに比例して我々の心はますます疎外され孤立して行こうとしている。高度に発達する機械文明の中で失なわれつつある情緒とか情感とか、あるいは連帯感とかゆとりといった人間的な潤いのある感情を取り戻す努力の 때가、この80年代ではないかと思う。

我社は今年で創業162年を迎えるが、社訓の中で「…茶はこころ、茶はもてなし、茶は思いやり…」とうたっている。正にお茶はこころであり80年人間復活のこの時代にこそ、お茶はその荷ない手ともバックボーンともならねばならないと思うのである。

即ちお茶は人の心をつかみ、少なくとも時代の流れとライフスタイルに合った新しいお茶でなければならぬ。従って私は、80年代に生きる人々に潤いを及ぼし、活力となるようなお茶を模索し創り乍ら、時代をリードする「のむ文化」としてのお茶の位置づけが、この80年代に処する我社の経営方針であり、又私の理念使命であると考えている。

企業を守り築いてゆきたい

(株)山城技研工業

社 長 市 川 盛 治

我々は社是として仕事と生活を通じて社会に貢献したいと念じている。それには生活の基盤である企業を守り、且つ築いてゆかねばならない。

先づ職場の人間関係を大切にし、従業員との心が通じ合い、明るく仕事に生甲斐を見出されるようにしたいと思っている。

不安定といわれる80年代の見通しはなかなかむずかしいが、企業に対する基本的な考え方には変わりはない。

我社は創業25年を迎えた。しかし当面解決しなければならない重要な問題を数多く抱えて苦悩している。

社内の意見を広く聞き、冷静に現実をつかみ真剣に問題に取り組み、25年間の基礎の上に更に発展の企業体質を養い80年代の変化に対応出来るようにし、次の世代にゆづってゆきたい。

昭和55年は一般的ではあるが、次の事項を重点としてゆきたい。

1. 生産性向上の為の全員参加の運動
2. 技術開発能力の向上
3. 財務の健全化

以 上

1980年代を迎えて

株式会社経済サロン社
社 長 三 宅 秀 明

地球の隅々までを震動した1970年代にサヨナラして、地球の上の新しい秩序と力関係とが生まれようとしております1980年代を迎えましたが、皆さま方にはご機嫌麗しく迎春のことと存じ、心からお慶び申し上げます。

旧臘中旬から下旬にかけて、ベネズエラのカラカスにおいて開催されましたOPEC総会の大混乱はOPEC内部の分裂の道につながり、この道は世界の石油市場にとって大変不安定な事態となつて、80年代の世界を震がすことになりそうです。

1973年（昭和48年）10月6日エジプト軍がスエズ運河渡河作戦を執行し、シリア軍がイスラエル領に侵攻して、第4次中東戦争の火ぶたが切られたことはご承知のとおりです。アラブ産油国は第4次中東戦争の勃発と同時に石油戦略を採り出したのです。昨年7月に東京で開催されました先進国首脳会談（東京サミット）に先立って、タンザニアのアルーシャで開催されました南半球後進国76ヶ国の会議の決議事項を再確認いたしました。

即ち『1970年代の世界は北半球の先進諸国のリードによって動かされて来たが80年はそうは許さない。80年代の世界の政治、経済、文化、軍事などの秩序は南半球に住んでいる資源をもった膚色の黒いわれわれの手によって作り、世界に号令をして動かさせていく……』……と。新聞では殆んど知らせておりませんが、このことを石油問題に限らずシッカリと年頭の意識の中に留めておきたいと考えております。

80年代は日本にとって、米国およびソ連の世界戦略の大きい歯車と、南半球の資源をもったブラックパワー、イスラムパワーの歯車との噛み合いの中で大きい障害を受けることが考えられます。

恵まれ過ぎた物質中心の豊かさ、物と人への感謝を忘れてしまった心の乏しさというアンバランスの生活の中で、80年の今年こそ『厳しさと有難さ、人間らしさ』に徹するための入口の年です。物の節約につとめ、大切に活用しながら、作ってくれた人々に限り無い感謝を捧げる敬虔な心が要求される年代に突入しました。

この「敬虔な心」と「この心による真摯ないそしみ」をもたない人々には幸福も繁栄も共に約束されない、ことになるでしょう。売上げは予想以上に伸びないかも知らず……その一方公共料金をはじめとして物価は上昇しつづけ、生活はしにくくなるかも知れません。今年こそ世界の動きに注目して『人間らしさを失わずに、無駄、無茶、無理を払い除けた営業と生活態度に徹すること』が必要ですので、この点を当社のポイントとして精進したいと考えております。

美の探求と心のサービスを

高見株式会社

代表取締役 高見このぶ

ご婚礼衣裳の製造からリースまでを一貫して専門的に取扱って60年、美への感動の輪を拡げて来た当社では「絶えず美しさを求める心」を忘れず、技術を磨きお客様に喜ばれる心のこもった商品とサービスを提供し、企業の繁栄と社員の生活向上を図ると共に「社会への貢献を目指そう」を社是としていますが、特に険しい経済環境の中で1980年代を「工夫と活力の時代」としてとらえ、すぐれた経営戦略に一層の工夫を加え、意欲的に実行し、社内的には更に「高収益好配分」を維持して、繁栄を続けて行きたいと考えております。

80年代に想う「効率人事」

株式会社 安達商店

取締役経理部長 福地志津雄

年功序列による安全体系と、それによる従業員の仕事に対する忠誠心も、最近の厳しい環境から眺めると、会社も従業員も互に居心地が不安になって来ているのは事実のようだ。それはやはり、年功序列からくる非効率化と、企業が生き抜いて行くための健全な体質は能力精鋭主義でないという厳しい現実が証明しているからに他ならない。

しかし年功序列は永い歴史をもつわが国特有の制度であり、又根深く制度が存続している以上、これを一挙に能力主義に切替えるとなるといくつかの問題も出てこようか。だから能力主義制度の導入も慎重に検討した上でないと、企業組織全体を破壊してしまうことにもなりかねない。とは云っても現在の大部分の中小企業のように年功序列にあぐらをかいた職階制は、個人にとっても企業にとってもプラスにならないことは確かである。

ある会社の創設者は「年功には待遇で報い、実力者には地位を与えよ」つまり、古くから功績のあった人には当然その功に報いるが、それには給与を保障し、あるいは名誉を重んじる。しかし、そのもつで働く人々の立場を考慮し地位は与えない。と云っているし、また、ある会社では、職能、資格制度を改定し、社員全体に活力を与え各人の能力を開発するため各職階ごとに試験制度を設け能力さえあれば職階も上がる。つまり年功序列体系と訣別した、と云われる。

このようにして見ると、やはり有能なリーダーの存在はその部門、その会社の伸展に非常にかかわり合いが深く、そういう意味で年功序列と能力主義との見極めが経営のポイントとして非常に重要な位置を占めるのではなからうか。

更に厳しい環境の80年を迎えるに当って、効率人事の問題に焦点を置きたいと思っている。

わが社のチェーン化経営方針

(株) 志 乃 崎

社 長 篠 崎 重 倫

当社は「そば」を中心とする飲食店のレギュラーチェーン組織で昭和47年発足以来、現在で12店を数えるに至りました。各店舗が京都市内以外にも散在しているために最も苦心しましたのは全体の管理と調和です。

それには、相互の愛情と信頼をバックボーンに各店長に全幅の権限を与え、目標完遂に努め志乃崎チェーンは皆のものであるという、発足以来の基本方針で進んでまいりました。

最近、外食産業は時代の花形としてクローズアップし、あちらこちらに沢山の店がチェーン組織で出現しましたが、何と云っても一番大切なことは相互信頼と総和の発揮で築いていくべきものであるという信念を私は持ち続けています。そしてこれにより培われたチームワーク力を基礎に次の2点を柱に邁進したいと考えています。第一は「高収益で好配分」をスローガンに会社も社員も一体となって生活と職場と幸せを守り繁栄していくことです。また高収益を確保するにはスケールメリットを活かしあらゆる部門に革新を実行していきたいと思っています。「そば」の提供を通じその一杯、一杯、お客様の一人、一人に如何に真心のこもった。しかも付加価値の高い「そば」を提供できるかに挑戦し奉仕の実をあげることです。第二の柱は高度の管理力を備えたマネジメント体制の一層の充実でシステム化を推進することです。散在した各店と本部の間に迅速な情報の提供、行き届いた管理で深いパイプを固めていくことがチェーン店の威力を大きく前進させる鍵です。

即ち、高度の管理システムとそれを最高裡に発揮する努力と和の力でお客さまに奉仕するのが志乃崎チェーンの経営方針です。

1980年を迎えての覚悟

はきもの老舗

丸竹 主人 富 井 基 博

吹けば飛ぶような小売商人にとっては、〃日本経済の展望、とか、〃オイルショックの影響、などの理論的な情報は、全く馬の耳に念仏のようなものであるけれども、決して無縁のものではあり得ないのは確かだ。

新聞の政治経済面はあまり読んでない女性相手の商売では、石油の値段より、女性は今、どんな物を望んでいるのか、次のファッションはどんなものか、の方が重大関心事で、2年3年先のことよりは、今日、シャッターを開けて閉めるまでが問題なのである。

しかし、女性の懐具合は、ご主人たる企業の一員の浮沈いかにかかっているのです、1980年は、確実に不景気の年であろう。

ささやかな小売屋は小売屋なりに、いい加減な経営の仕方では取り残されてしまう。

もう、攻めの商売ではなく、守りの商いになって、小さければ小さいなりの、合理化や経費の節減に力を入れなければならない。

おやじ自ら老軀に鞭打って、店頭で精を出さねばならぬ時代である。

良き時代は去る（申）の年になったのである。

80年代の我が社の抱負

東邦織物株式会社

社 長 山 田 浩 三

あけましておめでとうございます。80年代の幕明けの本年、皆様方にはお揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて波乱の70年代が終り、いよいよ混迷の80年代へと突入しました。企業人の手腕が問われる時代とも云われています。我社では総べてに「積極的」を第一義に考えております。『攻撃は最大の防禦』といわれていますように、低成長時代こそより大きく企業格差がつく時でもあると思います。高度成長時代に生れ育ったものたちが大自然の摂理の基、企業の原点に立ち返り労使一体となってこの難関を乗り越えて行く覚悟であります。

今までは前の年より今年、今年より来年と総べてが上昇するものという考えでいたのを、今年も来年も変らない時代、いや減ることもあるということを知り、その対応を十分考えた上で、生活の面でも企業活動の上からも取り組んでまいりたいと思います。頭が廻らなければ尾も廻らないわけで、率先垂範をモットーにヤル気のある者だけが一致協力して猛進します。どうか皆様方のご指導ご支援を心からお願いします。

80年代の購買層と経営

(株)東洋文化社

社 長 中 西 利 雄

中小企業は我が国に於て企業の大半を占めています。従って、80年代に於ける我々の経営態度は、今後いろいろな面で重大な意義をもっていると思います。資源弱小国の日本が、60年代より続いた高度成長路線の上に物質文明を謳歌して来ました。80年代はスタグレーションの中で物質文化と精神文化の変遷を模索しながら消費の動向を見定めねばならないと思います。購買力の中心になる青少年の性格的な流行を考えますと、ヤングアダルトと言われる様に、一つは精神的な自然への回顧であり、メルヘン、ファンタチック志向として、捉えられます。一つは自意識な個性、豊かさの中のエゴイズム、甘え等の特徴をもった青少年が総体的に増加しています。以上の様な購買中心層を考える時、企業としては、産業構造の転換、即ち専門職的な人材の養成よりむしろ専門的な特産商品が要求されると思います。この為には、真の経営者としての資格が必要になり、企業エゴ、利益追究集団でなく、企業の果すべき責任も考えねばならないと思います。青少年が消費の中心をなし、又企業活力である以上、地域社会の再編成、家庭をも含めた青少年の再教育に我々は無関心ではいけないでしょう。

80年代の経営者として、政治家にステーツマンシップが要求される様に企業経営者も、マネージマンシップを発揮し、今後の難関を乗り越えたいと思います。

80年代は玄人の年

美濃清商工株式会社

取締役社長 若山 備弘

木材も国際的になって来た。米材、ソ連材はアメリカ・カナダ・ソ連の三者の協議で値決めされ、又南洋材もOPECの石油同様、ASEAN諸国にて決定され、日本の発言力はない。我々の知らない処で為替は操作され、輸入材が70%と過重になった今日、その動向が国内相場を根底から揺さぶる結果となる。木材業界の経営者として、国内の政治的動向（住宅政策）と海外の動向の見極めは至難の技となりつつある。この様な状態を3、4年前に予想した者は何人居ただろうか、木材業界は今「着実に混迷」の一語につきる。国内材はまだ戦争中の乱伐より回復していない。今後10年は増加は望めないし、又諸経費の高騰等悪条件は日増に高まりつつある。

80年代に果してバランスがとれるかどうか。80年代の経営方針を問われて答え得べくもないが、ただ80年代は「玄人の年」新しい時代と受けとめ、経験の上に立つ研鑽の時代、業界再編成の時、一層基礎を固めつつ前進をはかりたい。

流行歌で80年代を占う

株式会社男爵シップジップ

専務取締役 戸嶋 勝美

70年代の初めから国際化の時代がやってくると云われてはいました。けれどもそのイメージは、万博の時に流行った「世界の国から今日は」と云った楽しいイメージでありました。万博の観客のように愛想のよい国際化を高度成長の中で考えていたようです。

ところが「今日は」とやって来た中には「オイルショック」のような一方的な強かつのようなものやらアメリカの我儘やら、円高で貴方の給料は世界一高い水準の賃金になりました等、ペテン師のようなものが世界の国からやって来て、やっと国際化の本質、実体とはこんなもんだったのかと分ったのが今日です。

しかし流行歌というものは実に敏感です。高度成長の前期、東京への人口集中が初まった60年頃は「僕の恋人東京ヘイッチッチ」とか「そこから東京が見えるかい」とかが田舎の怨をこめて歌われていました。東京側からは「夜霧の第二国道」とか「有楽町で逢いましょう」が東京のPRをも兼ねて流行ったのです。

では今どんな歌が流行っているか。「関白宣言」……云って置きたいことがある。俺は浮気はしない、多分しない……と。これが何を物語っているか、都市化し管理化された中で、「関白宣言を行っている男が、日本の周囲で無気味に動く国際紛争の中で「勇気があれば」と唄っているのです。つまり日本は勇気がないからです。ほんとに勇気を出して乗り切らねばならない時代がやって来ているのです。

「あんたの時代はよかった」と云っていてもはじまらない時代、勇気を出して考え行動する時代を、流行歌が敏感に感じ唄っている気がしてなりません。私は80年代をそんなところから考えたいと思っています。

年頭に際して

株式会社 広瀬製本所
社 長 広 瀬 正

新年おめでとうございます。

元旦を迎えて一年の計を考えることはお互いに同じことではありますが、企業を営む者にとりましては、今年こそ良き年でやりたいと企業の益々の発展を念じるのでありますが、その祈願も空しく、思うように行かないのが今日の経済情勢かと存じます。

昭和54年をかえり見るに一部には少しばかり景気上昇が見えたのでありますが、公定歩合の引上げとともに卸売物価の急激なる上昇につれ、インフレ傾向はますます進んで行くように思われますと共にわれわれ零細企業の経営は益々苦しくなるばかりであるように思われます。

又世相のほんの一部を眺めて見ましても国民の政治に対する不信を初め、公社、公団など独占企業の腐敗ぶりはわれわれ民間ではとても考えられないようなことばかりであります。

そういった世相の中で真面目に税金を払って自分の企業を守るため一生懸命に努力している零細企業はどうなるのかと云いたくもなるのであります。

昭和55年新春を迎え、ほんとうに今年こそは穏かな政治、順調な経済で平和な年でありますと共にわれわれ零細企業にとりましても、業者間の信頼、協力、団結と組織の力によりお互いに自分の企業に努力することを一年の計として新たなる発展を望む次第であります。

80年代に処すわが組合の経営方針

白川サービスセンター協同組合
理事長 倉 貫 茂

1980年代は創立20年を経過した白川サービスセンター協同組合の青年期でもあります。

小売市場の出店事業主が即組合員となり、経営と所有を一体化した組織作りを設立の基本として発足し、ご家庭のお台所と直結し、暮らしの向上に役立つショッピングセンターとして今日に至りました。

当組合の基本理念は「奉仕と繁栄の調和に努め、地域社会の消費生活向上に貢献する」ことであり、今後もそれを信条として、近代的な市場づくりに邁進する所存ですが、80年代は組織の年として従来から培われた団結力、組織力を更に飛躍展開して京都有数の近代的ショッピングセンターに発展することが第1の方針です。

第2は、組合員、従業員の相互扶助密度をより深めることで共済制度の充実化をはじめとした内部の結束を一層強める方針です。

第3の方針は地域社会への貢献であり、地元消費者あつての当センターの存立基盤の原点に思いをいたし地域社会活動に諸種の角度から協力申しあげる考えです。

即ち、組合内部の体制強化を基点に消費者に奉仕する近代的ショッピング作りを通じ顧客に愛され、地域社会と共に歩む組合として80年代に処する方針です。

省資源・省エネルギー設備リース

事業協同組合等の組合が中心となって組合員

の省資源・省エネルギーに寄与する設備を一括購入し、組合員にリースする場合に、長期低利の貸付を受けられる制度で、近く発足の予定。

(中小企業振興事業団)

融 融 融	資 資 資	限 期 利	度 間 息	所要資金の65%以内 12年以内(据置2年) 2.7%
-------------	-------------	-------------	-------------	-----------------------------------

(対象設備)

- ▷エネルギー有効利用設備—自動燃焼管理設備, 廃熱ボイラー設備, 廃圧力回収装置, 廃熱利用冷温水機, ボイラー効率向上設備, 回転数制御装置, ヒートポンプ方式熱源装置, 省エネルギー型燃焼用機器, 熱交換器, 廃ガス利用設備, 蒸気ドレン回収設備, 保温設備, 稼働台数制御装置, コールドボックス鋳造型機, 太陽熱利用冷温熱装置
- ▷資原有効利用設備—廃水処理スラッジ飼料化装置, イオン交換器, 集成機製造設備, 洗滌水回収装置, 廃プラスチック類再生処理装置, メッキ液回収装置(濃縮装置), 鋳物砂再生装置, パーティクルボード製造機, 廃油再生装置



幸せを美しく……ご婚礼衣裳

たかみ

京都店 / 下京区五条通河原町西
☎(075)341-3221(代)

経営相談・診断研究

黒川経営能率研究所

所長 黒川倉市

〒604 京都市中京区丸太町通東洞院東入
藤原ビル TEL (075)211-6010

街にみどり
暮らしにゆとりを

中央信用金庫

理事長 西村清次

本店 〒600 京都市下京区四条通烏丸西入
☎(075)223-2525(大代表)

小松水産株式会社経営

鮎料理

松水
しゅう すい

滋賀県志賀町北小松 佃煮専門店近江松水
(07759) 6-0251 東山区大和大路団栗下る
事務所 (07759)6-0122 (075) 531-2877

あけましておめでとうございます

昭和55年元旦

(社) 中小企業診断協会京都支部有志

<p>荒尾 義晴</p> <p>京都市下京区下魚棚通堀川西入 TEL 341-5331(代) 〒600</p>	<p>城 道雄</p> <p>京都市右京区嵯峨朝日町2の16 幸栄ビル3階 TEL 881-2135 〒616</p>	<p>福 知 利 之</p> <p>大津市唐崎三丁目20-7 TEL (0775)78-3667 〒520-01</p>
<p>大 木 徹</p> <p>京都市東山区問屋町通五条下る 3丁目 TEL 561-6171~4 〒605</p>	<p>中 谷 弥 太 郎</p> <p>京都市下京区東洞院通五条上る TEL 351-8449・2140 〒600</p>	<p>堀 村 清 蔵</p> <p>京都市下京区西洞院通七条上る TEL 361-4455(代) 〒600</p>
<p>大 幡 義 夫</p> <p>京都市下京区黒門通五条下る TEL 351-2552・6860 〒600</p>	<p>中 村 貞 次 郎</p> <p>京都市右京区西院三蔵町20 TEL 311-2656(代) 〒616</p>	<p>村 上 泰 三</p> <p>京都市下京区大宮通松原上る TEL 801-4591 〒600</p>
<p>片 岡 憲 男</p> <p>京都市中京区丸太町通衣棚西入 玉植町222 TEL 256-1880(代) 〒604</p>	<p>中 窪 嘉 邦</p> <p>京都市右京区御室小松野町31の3 TEL 462-7497 〒616</p>	<p>森 川 八 十 一</p> <p>京都市北区紫野中十二坊町28-2 TEL 463-6972 〒603</p>
<p>久 保 文 男</p> <p>京都市中京区室町通夷川上る鏡屋町 36の2 TEL 231-0403 TEL 222-0403 〒604</p>	<p>中 野 善 蔵</p> <p>京都市北区上賀茂朝露ヶ原28-1 TEL 721-8214 〒603</p>	<p>山 口 敏 雄</p> <p>京都市左京区吉田近衛町26の62 TEL 761-1514 〒606</p>
<p>桑 原 博</p> <p>京都市中京区御幸町通二条上る 達磨町590 TEL 222-0278 〒604</p>	<p>西 畑 好 彦</p> <p>京都市中京区西洞院通二条上る 葉師町652 TEL 231-5207 〒604</p>	<p>山 下 藤 三 郎</p> <p>京都市中京区壬生柳ノ宮町25の2 越後町189 TEL 821-5151~4 〒604</p>
<p>島 津 清 一 郎</p> <p>京都市下京区堀川通六条下る 元日町11 TEL 343-0861(代) 〒600</p>	<p>広 瀬 来 三</p> <p>京都市中京区烏丸通二条下る ヒロセビル TEL 222-2051 〒604</p>	<p>山 本 淑 郎</p> <p>京都市北区堀川北大路上る西入 TEL 491-4957 〒603</p>
<p>田 畑 周 一 郎</p> <p>京都市中京区高倉通丸太町下る 坂本町691 TEL 241-3361・3362 〒604</p>	<p>菱 田 多 一 郎</p> <p>京都市中京区上押小路通御前東入 北側 TEL 842-0001(代) 〒604</p>	<p>和 田 忠 儀</p> <p>京都市下京区河原町通六条下る ワダビル TEL 351-7127 〒600</p>

— 京 都 支 部 だ よ り —

(昭和54.8～昭和54.12)

- 8.18 近畿，中部地区合同ブロック会議開催について，協議のため府立勤労会館において役員会を開催した（出席者，中谷，大幡，黒川，大村，山本，堀村，黒崎，中窪，堀江，吉村，久保，島津の各氏）
- 9.5 近畿，中部地区合同ブロック会議が国際ホテル会議場において開催され，本部からは協会及び会館の主要計画の説明があり，各支部の会員からはそれぞれ意見や要望事項の開陳があり，質疑応答のあと和やかな懇親会が行われた。
- 9.6～7 ブロック会議の翌日から昭和54年度第2回全国診断研究会が開催され，会員多数が参加した。（なお，ブロック会議及び診断研究会については「診断ニュース9月号」を参照されたい）
- 10.23 本部創立25周年記念式典が東京銀座東急ホテルで開催され，次の各氏が表彰及び感謝状を受けられた。
- 日本商工会議所会頭賞 山本 淑 郎 氏
 診断協会本部長賞 中谷 弥 太 郎 氏，黒川 倉 市 氏
 大幡 義 夫 氏，堀村 清 蔵 氏
 黒崎 徳 之 助 氏，島津 清 一 郎 氏
 山口 敏 雄 氏，久保 文 男 氏
 片岡 憲 男 氏，西沢 一 男 氏
- 10.29 「本部会員名簿」及び「25年の歩み」を全会員に送付した。
- 11.22 京都地区関係の登録研修者に対し研修修了証明書を送付した。
- 12.18 本部常任理事会が開催され，中谷支部長が出席した。
- 12.20 昭和55年診断手帖を全会員に送付した。

あとがき この「診断京都」もこれまで発行の都度少しでも内容に変ったものを取り入れたいと苦心して参りましたが，今号は企業経営における激動の80年代対応に資したいと企画し，原稿集めの特にむづかしい中をようやくまとめました。微意をお汲みいただければ幸いです。

終りに，玉稿を賜りました方々に心からお礼を申し上げます。 —やまもと—

診 断 京 都

〈第12巻第1号〉

昭和55年1月1日発行

社団法人 中小企業診断協会京都支部

〒600 京都市下京区東洞院五条上る

TEL (075) 351-8449

印刷所 真美印刷株式会社

TEL (075) 821-2136(代)